

エイズ治療中核拠点病院と地域医療機関との連携による支援体制の構築とケアの実際

HIV 感染症患者の長期療養を支えるため、全国のエイズ治療拠点病院は地域連携を推進しています。HIV 診療チームの看護師、医療ソーシャルワーカーには、地域や関係機関との連携力が求められており、このような経緯から Ns と MSW の協働シンポジウムは企画されました。関わりから見てきたのは、**他疾患の発症を契機に HIV 感染も同時に判明した患者**のケアや地域支援体制を構築する機会の増加です。第3回は、患者の病状に応じた連携の取り組みや課題について、両職種から報告いただきますので、奮ってご参加ください。

日時：令和5年 **12月20日** **水** 18:00~19:10

方法：ZOOMによるオンライン

事前申し込み(先着100名) 締切：12月11日(月) 正午

<https://forms.gle/5xw8kLhemnDBE7CaA>

あるいはQRコードから▶



*個人情報は運営管理の目的以外に使用しません。

対象：HIV 診療に携わる
看護職と医療ソーシャルワーカー

プログラム

進行 **三嶋 一輝** 医療ソーシャルワーカー (福井大学医学部附属病院)
石井 智美 HIVコーディネーターナース (石川県立中央病院)

開会挨拶 [HIV感染症の医療体制の整備に関する研究] 班 研究代表者
潟永 博之 エイズ治療・研究開発センター長
(国立国際医療研究センター病院)

シンポジウム

① AIDS 発症に伴う複数の診療科との連携における HIV 担当看護師の役割
宮城 京子 HIV コーディネーターナース (琉球大学病院)

② 脳卒中で搬送されたHIV陽性者の地域支援体制構築におけるMSWの役割
木梨 貴博 医療社会事業専門員 (福山医療センター)

総合討論

情報提供

薬害HIV感染者の「PMDA 個人データの提供による個別支援」「J4H」の仕組みについて
高橋 昌也 医療社会事業専門員
(国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

閉会挨拶 **大金 美和** 患者支援調整職
(国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

主催 厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV感染症の医療体制整備に関する研究
研究分担者：三嶋一輝「Nsとの協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

協力 研究分担者：大金美和「ブロック内中核拠点病院間における相互交流によるHIV診療環境の相互評価とMSWと協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

後援 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

問い合わせ先

福井大学医学部附属病院 地域医療連携部 三嶋 一輝
TEL 0776-61-8645 (平日 9:00 - 17:00) ※当日 TEL 080-2966-7362